

その他(4)

深めよう 絆 にいがた県民会議について

このことについて、別紙のとおり報告する。

令和8年6月30日  
新潟県教育委員会教育長  
太田 勇二

## 深めよう 絆 にいがた県民会議について

## 1 「深めよう 絆 にいがた県民会議」の概要

- (1) 目的：いじめ根絶をはじめとする児童生徒の健全育成に向けて、学校・家庭・地域で絆を深めることの重要性を鑑み、構成団体等が社会全体にその気運を醸成することにより、県民運動の推進に寄与する。
- (2) 事業：学校・家庭・地域との連携を深め、社会全体で児童生徒を守り育てる気運を醸成する周知・啓発活動

(3) 構成：

① 学識経験者	石川県立大学 非常勤講師 橋本定男 座長
② 県民全体に「いじめ見逃しゼロ」の気運を醸成する団体等	R 8年4月時点 21 団体
③ 学校や地域と連携し「いじめ見逃しゼロ」の社会づくりに関わりの大きい団体等	R 8年4月時点 15 団体
④ 学校、保護者等、直接子どもに関わった取組を推進する団体等	R 8年4月時点 19 団体

※ いじめ見逃しゼロ県民運動は、今年度 20 年目を迎える（平成 19 年から実施）

## 2 令和 7 年度の活動報告

(1) 深めよう絆にいがた県民会議 総会

- ・第 1 回総会 令和 7 年 5 月 22 日（木）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

新潟県自治会館 第 1 研修室（ハイブリット会議）

[会場参加 32 人 オンライン参加 45 人 参加者合計 77 人]

総会後の講演会：早稲田大学 教育・総合科学学術院

非常勤講師 伊佐貢一 様

「人と関わる力を育てる～ソーシャルスキル+（プラス）を意識して～」

- ・第 2 回総会 令和 8 年 2 月 5 日（木）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

新潟県自治会館 別館 3 階第 1 研修室（ハイブリット会議）

[会場参集 33 人 オンライン参加 45 人 参加者合計 78 人]

総会後の講演会：新潟青陵大学 准教授 佐藤修哉 様

「いじめの理解と対応～スクールカウンセラーと研究者の視点から～」

(2) いじめ見逃しゼロ 県民の集い

- ・期 日 令和 7 年 11 月 19 日（水）

- ・内 容 テーマ：「だれもが安心して過ごせる関わり方をめざして

～いじりについて考えてみよう～」

- ・参加者 参加を希望した小・中・高等学校 9 校の代表児童生徒と参加校生徒

- ・方 法 参加校をオンラインでつなぐ「オンラインディスカッション」として開催。

代表児童生徒以外の全員で考える時間も確保

YouTube 公式チャンネルで R 8 年 10 月末まで動画配信

(3) 訪問活動及び各種研修会への支援

① 「いじめ見逃しゼロキャラバン」

- ・「いじめ見逃しゼロスクール集会」への参加や「出前授業」に、個人サポーターなどのキャラバン隊が県内 30 校を訪問

## ② 県民講座

- ・学校、市町村、地域コミュニティ等が実施する保護者や地域住民を対象としたいじめ問題等に関する講演や研修会等に対し、5団体に助成・支援を実施（3万円を上限）
- (4) 県民サポーターの募集 [R7年12月末 3,607人]
- ・県民サポーターには、メールやSNS（LINE、X、インスタグラム）で「いじめ見逃しゼロコラム」や県民運動に関する情報を配信
- (5) 企業・団体サポーターとの連携 [R7年度88企業・団体]
- ・協賛いただいた企業・団体には、企業・団体名が書き込める協賛企業・団体用ポスターを作成し、配付
- (6) 広報・啓発活動
- ・啓発ポスターを学校や教育関係機関、県民運動の構成団体、協賛企業・団体等に配付する他、強調月間にコンビニエンスストアにおいて掲出
  - ・テレビやSNSなどを活用した広報活動を実施

## 3 令和8年度の活動

### (1) 深めよう絆にいがた県民会議 総会

- ・第1回総会 令和8年5月21日（木）14時00分～16時30分  
新潟県自治会館 ゆきつばき（ハイブリット会議）  
[会場参加34人 オンライン参加36人 参加者合計70人]  
総会後の講演会：新潟大学 佐渡自然共生科学センター

教授 豊田 光世 様

「子どもの哲学(p4c)が目指す「対話するコミュニティ」づくり」

- ・第2回総会 令和9年2月4日（木）14時00分～16時30分  
新潟県自治会館 ゆきつばき（ハイブリット会議）
- (2) いじめ見逃しゼロ強調月間 6月・11月
- ・各校でいじめ見逃しゼロスクール等の取組を実施
  - ・いじめ見逃しゼロキャラバン訪問
- (3) いじめ見逃しゼロキャラバン（出前授業、集会参加）
- ・応募88校から選考基準をもとに、訪問校35校を決定
  - ・SNS等を活用して、活動の様子を積極的に発信
  - ・ビックスワン広報活動（10月）、サポーター募集カード配布予定
- (4) 県民講座
- ・学校、市町村、地域コミュニティ等が実施する保護者や地域住民を対象としたいじめ問題等に関する講演や研修会等に対し、5団体に助成・支援（3万円を上限）
- (5) いじめ見逃しゼロ県民の集い 11月20日（金）午後 オンライン
- ・平日開催とし、オンラインで各学校をつなぐ
  - ・子どもによるディスカッション（小・中・高）に加え、学校にかかわるPTAや地域の大人も参加できるよう案内
- (6) 広報・啓発活動
- ・PRポスターにアルビレックス新潟 小野裕二選手、アルビレックス新潟レディース 山谷瑠香選手を起用
  - ・キャッチコピーを協賛企業・団体から募集  
『心が育つ、未来が育つ！～いじめ見逃しゼロ県民運動～』
  - ・企業向けリーフレット完成、配布（7月）
  - ・テレビ、ラジオ、SNSで、いじめ見逃しゼロコラムや県民運動に関する情報を配信